

審 議 事 項

件名・議案		提案者	別添 資料 (頁)	提案理由等 (※主催シンポジウム等関係、後援関係につ いては概要を記載)
1. シンポジウム等関係				
提案1	日本学術会議主催学術フォー ラム「原発事故調査で明らか になったことー学術の役割と 課題ー」	会長	別添 (1)	主催：日本学術会議 日時：平成24年8月31日（金） 12:30～18:10 場所：日本学術会議講堂

(提案 1)

日本学術会議主催学術フォーラム「原発事故調査で明らかになったこと－学術の役割と課題－」の開催について

1. 主 催：日本学術会議

2. 日 時：平成24年8月31日（金）12：30～18：10

3. 場 所：日本学術会議講堂

4. 分科会の開催：なし

5. 開催趣旨：

東京電力福島第一原子力発電所事故に関する、政府、国会、民間等の主要な事故調査委員会（以下、「事故調」）の報告がまとまった。今後、原子力発電の安全性、エネルギー供給の在り方等について学術会議として審議していく上では、これらの事故調報告を受け止め、そこで指摘された学術的な課題を踏まえながら、今後の議論を進めていくことが必要である。

このような問題意識から、各事故調の委員長から報告書の内容を解説いただき、調査の到達点と残された課題及び今後の方向性について学術的な観点から把握するとともに、重大事故が発生した場合に望まれる調査の在り方についても考察し、さらに学術会議として報告書をどのように受け止め、何を学び、今後の審議にどう活かしていくべきかを論ずることを目的に、フォーラムを開催する。

6. 次 第：

12：30 開会挨拶ならびに趣旨説明

大西 隆（日本学術会議会長、東京大学大学院工学系研究科教授）

12：40 報告・討論（第1部）

報告：黒川 清

（元日本学術会議会長、国会事故調「東京電力福島原子力発電所事故調査委員会」委員長、東京大学名誉教授、政策研究大学院大学アカデミックフェロー）

討論：山下 俊一（日本学術会議第二部会員、福島県立医科大学副学長）

岸本 喜久雄（日本学術会議第三部会員、東京工業大学教授）

※調整中

13：55 休憩

14：00 報告・討論（第2部）

報告：畑村 洋太郎

（政府事故調「東京電力福島第一原子力発電所における事故調査・検証委員会」委員長、東京大学名誉教授、工学院大学教授）

安部 誠治

(同委員会技術顧問、関西大学社会安全学部安全マネジメント学科教授)

討論：春日 文子（日本学術会議副会長、国立医薬品食品衛生研究所
安全情報部長）

※もう一名調整中

15：15 休憩

15：30 報告・討論（第3部）

報告：北澤 宏一（日本学術会議連携会員、「福島原発事故独立検証委員会」委員長、独立行政法人科学技術振興機構顧問）

※もう一名調整中

討論：山本 正幸（日本学術会議第二部会員、公益財団法人かずさDNA研究所所長）

後藤 弘子（日本学術会議第一部会員、千葉大学大学院専門法務研究科教授） ※調整中

16：45 休憩

16：50 総括討論

一事故調報告が明らかにしたものと今後の課題ー

コーディネーター 吉川 弘之（日本学術会議栄誉会員、元日本学術
会議会長、独立行政法人科学技術振興機構研究開発センター センター
長） ※調整中

パネリスト 畑村 洋太郎（前出）

黒川 清（前出）

北澤 宏一（前出）

安部 誠治（前出）

柴田 徳思（日本学術会議連携会員、千代田テクノル株式会社大洗研究所研究主幹）

※もう一名調整中

18：05 閉会挨拶

春日 文子（日本学術会議副会長、国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部長）